

自然と共生

～檜原村で始める自然農法～

由は、単純にんにくが大好きだから。目指すゴールは、出来上がったにんにくで生ニンニク、乾燥ニンニク、黒ニンニクを商品化することです。選んだ品種は青森県産の「福地ホワイト六片」。これは福地村（現在は合併し、南部町）が原産地で、雪のように球が白いことから、この名前が付いたそうです。たまたま、

片がゴロつと大きく、中国産やスペイン産と比べてえぐみが少なく、旨味のあります。次の日はバツチリとやさしい甘味が広がります。強烈に臭う、最高の代物です。笑 気候についても調べたのですが、実は南部町と檜原村の気候は少し似ています。青森県南部町の冬の平

にんにく農家さん曰く、に
きるよう に 今年は色々と
んにく作りで一番大事な
ことは、排水性を良くする
こと。さらに昼夜の寒暖差
を大きくすること。つまり、
檜原村の畑は美味しい
にんにくができるポテン
シャルが高いと考えてい
ます。今回使用する畑は菌
ちゃん畑ではなく、きのこ
センターでいただいたキ
ノコクズと風張峠で拾つ
てきました。1つ目は、
栽培実験していきたいと
思います。より大きく、美
しく、育てやすい条件をみ
つけたいと考えています。
まず畑ですが、日当たりが
良い場所、標準的な場所、
そして日照時間が短い場
所と、立地の異なる3カ所
に分けています。立地条件
に加え、さらに2つの工夫
具体的な経過をご報告さ
せていただきたいと思いま
す。応援いただけると嬉しいです。（高橋）



10月中旬植え付け（千足）
比較的順調に成長中
日照時間が短い



11月13日植え付け（小沢A）
薄っすらと芽がでてきました
日照時間が長い



11月13日植え付け(小沢B)
11/21時点では発芽はまだ
日照時間は中

地域おこし協力隊へのご依頼は
檜原村役場 むらづくり推進係へ

042-519-9556



協力隊各種 SNS は
QL コードから！ ➔

空き家相談窓口のご報告

た。講義とテストで資格取得ができるということで、受講してきました。内容としては、空き家に関する法律関係の講義、税金に関する講義、建築に関する講義、管理・予防・利活用・相談業務に関する講義を受けました。

法律に関する講義では、現在行っている「空き家相談窓口」の業務に関することが多く、以前からこの新聞でお話している内容が多くありました。

相続に関する内容が多く説明され、現在行っている業務が、一番大変な所であり、重要な所であると実感することができました。



税金に関する講義についても、現在の業務でも取り扱っている内容もあり、固定資産税や贈与税、不動産取得税など、どのように計算されているかなどの講義が中心となりました。処分に困っている空き家をどのようにしたら、税金面や売買・賃貸などの収入がどのようになるのかをシミュレーションすることが大事であり、それを説明することを学んできました。

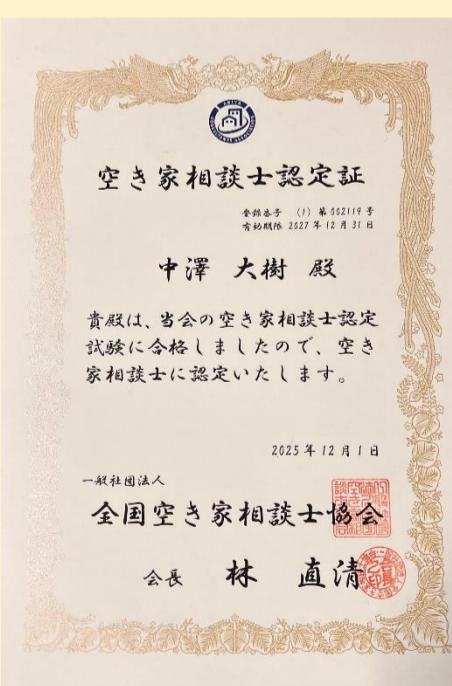
空き家相談士認定講座 テキスト

テキストは300ページありました。

来年度以降、地域おこし協力隊を卒業しても継続して窓口業務を行っていく予定ですが、何かわからないことや、相談してみたいことがあります。たら、ご連絡ください。

もしお困りの人がいらっしゃるやつたら、ご紹介ください！

ゆっくり時間がかかることがあります。お手伝いさせていただきます！



無事に資格取得することができました！

編集後記



地域おこし協力隊 メンバー

たかはし まさき はやし あきひろ
高橋政樹 **林 阿基弘**

村内で見かけたら、お声かけください！

一気に寒くなり車の窓ガラスが凍つて危うく遅刻しそうになることも…。檜原の冬の冷えこみはまだこんなものではないので、いつ湯たんぽを使おうかと考える毎日です。気温差が大きい日も多いため、体調を崩さずに新年を迎えるのですね。（松本）